

沖縄県指定与那覇岳鳥獣保護区

更新計画書

平成 27 年 11 月 1 日

沖縄県

1 鳥獣保護区の概要

(1) 鳥獣保護区の名称

与那覇岳鳥獣保護区

(2) 鳥獣保護区の区域

沖縄県国頭郡国頭村所在民有林 9 林班い 2 ,い 3、ろ 1、ろ 2 及びろ 3 の各小班、10 林班、11 林班、12 林班い 2、ろ 1 及びは 1 の各小班、15 林班、24 林班並びに 25 林班の区域

(3) 鳥獣保護区の存続期間

平成 27 年 11 月 1 日から平成 47 年 10 月 31 日まで (20 年間)

(4) 鳥獣保護区の指定区分

希少鳥獣生息地の保護区

(5) 鳥獣保護区の指定目的

当該区域は、沖縄県国頭郡国頭村字辺土名集落より約 3.5km に位置し、区域内の西側には与那覇岳 (標高 503 m) があり、北側は大国林道、東側は床川、南側は東村との境界に囲まれた区域である。また、区域は概ねイタジイ林となっており、中央部にはリュウキュウマツ、スギ、エゴノキ等の造林がある。

このような自然環境を反映して、国指定特別天然記念物のノグチゲラを始め、国指定天然記念物のヤンバルクイナやホントウアカヒゲなど希少な鳥類が生息している。

このように、当該区域は沖縄島北部地域固有の希少な鳥獣の生息地として良好な自然環境を有していることから、引き続き鳥獣の生息環境を保全するため、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 28 条第 1 項に規定する鳥獣保護区に指定し、当該区域に生息する希少鳥獣の保護を図るものである。

なお、当該区域は、昭和 40 年に琉球政府指定の鳥獣保護区に設定され、その後、昭和 60 年、平成 7 年及び平成 17 年に更新されている。

2 鳥獣保護区の保護に関する指針

(1) 保護管理方針

- 1) 鳥獣のモニタリング調査を通じて、当該区域内の鳥獣の生息状況の把握に努める。
- 2) 鳥獣の生息環境を脅かすような人の不用意な行為を防止するため、現場の巡視、関係地方公共団体、NPO、地域住民等と連携した普及啓発活動等に取り組む。

3 更新の理由

当該区域はノグチゲラ、ヤンバルクイナ、ホントウアカヒゲなど森林性の希少な鳥類の生息地となっていることから、これらの鳥獣の保護繁殖を図るため。

4 更新する鳥獣保護区の土地の地目別面積及び水面の面積

総面積 666 ha

内訳

ア 形態別内訳

林 野 666 ha

農耕地 - ha

水 面 - ha

その他 - ha

イ 所有者別内訳

国有地 - ha

{	国有林	{	林野庁所管	- ha	{	制限林	- ha
			他所管	- ha		普通林	- ha
		国有林以外の国有地		- ha			

{	地方公共団体有地	647 ha	都道府県有地	- ha
			市町村有地等	647 ha

私有地等 19 ha

公有水面 - ha

ウ 他の法令（条例を含む）による規制区域

自然環境保全法による地域 - ha

自然公園法による地域	258 ha	特別保護地区	21 ha
（沖縄海岸国定公園）		特別地域	237 ha

普通地域 ha

文化財保護法による地域 15 ha

（与那覇岳天然保護区域）

5 更新する区域における鳥獣の生息状況

(1) 当該地域の概要

ア 鳥獣保護区の位置

当該区域は、沖縄県国頭郡国頭村字辺土名集落より約 3.5km に位置し、区域内の西側には与那覇岳（標高 503 m）があり、北側は大国林道、東側は床川、南側は東村との境界に囲まれた区域である。

イ 地形、地質等

当該区域の地形分類は、概ね山地一般斜面であり、一部に山地急斜面、南東部に丘陵地一般斜面がある。

表層土壌は、概ね乾性黄色土壌であり、一部に適潤性黄色土壌が混在する。

表層地質は、概ね嘉陽層砂岩・粘板岩互層（始新世～白亜紀）であり、西部が名護層粘板岩・千枚岩・泥質片岩（始新世～白亜紀）である。

ウ 植物相の概要

当該区域では、概ねリュウキュウアオキ - スダジイ群落であり、シイ・カシ萌芽林が混在する。また、中央部では、リュウキュウマツ植林、スギ植林、エゴノキ植林、ハンノキ植林があり、一部にチガヤ - ススキ群落がある。

エ 動物相の概要

当該区域では、これまで国指定特別天然記念物のノグチゲラを始め、国指定天然記念物のヤンバルクイナやホントウアカヒゲなど、希少な鳥類が確認されている。またワタセジネズミを始めとする希少なほ乳類も確認されている。

平成 26 年度の現地調査により生息が確認された鳥獣は下記（2）のとおり、鳥類 11 科 18 種であり、哺乳類は 3 科 3 種である。

(2) 生息する鳥獣類 (平成26年度調査結果)

ア 鳥類

目	科	種名	種の指定等
タカ目	タカ科	サシバ	VU
ツル目	クイナ科	ヤンバルクイナ	国天、EN 国内希少
ハト目	ハト科	キジバト ズアカアオバト カラスバト	国天、NT
キツツキ目	キツツキ科	ノグチゲラ リュウキュウコゲラ	特天、CR 国内希少
スズメ目	サンショウクイ科	リュウキュウサンショウクイ	NT
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	
	ツグミ科	ホントウアカヒゲ	国天、EN 国内希少
		ルリビタキ	
		トラツグミ	
		シロハラ	
	ウグイス科	ウグイス	
	シジュウカラ科	シジュウカラ ヤマガラ	
	メジロ科	メジロ	
	カラス科	ハシブトガラス	
合計	5目	11科	18種

イ 哺乳類

目	科	種名	種の指定等
モグラ目	トガリネズミ科	ワタセジネズミ	NT
コウモリ目	ヒナコウモリ科	ヒナコウモリの一つ	
ウシ目	イノシシ科	リュウキュウイノシシ	
合計	3目	3科	3種

(注)

- 鳥獣の目・科・種(和名)及び配列は、日本野生鳥獣目録(2002年7月、環境省自然環境局野生生物課)に拠った。
- 種の指定等の要件は次のとおりである。
国天：国指定天然記念物 特天：国指定特別天然記念物
レッドリスト(平成24年環境省)(ア鳥類)

レッドリスト(平成24年環境省)(イ哺乳類)

CR:絶滅危惧 A類、EN:絶滅危惧 B類、VU:絶滅危惧 類

NT:準絶滅危惧、DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群

国内希少:絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国内希少種

国際希少:絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国際希少種

特定外来:特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律による特定外来生物

- 3 印は一般的に見られる鳥獣。アンダーラインは鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第7条第6項第1号により特に保護を図る必要があるものとして環境省令で定める鳥獣及び天然記念物に指定された鳥獣。

(3)当該地域の農林水産物の被害状況
なし

- 6 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第32条の規定による補償に関する事項

当該区域において、鳥獣の生息及び繁殖に必要な施設を設置することにより損失を受けた者に対しては、通常生ずべき損失の補償をする。

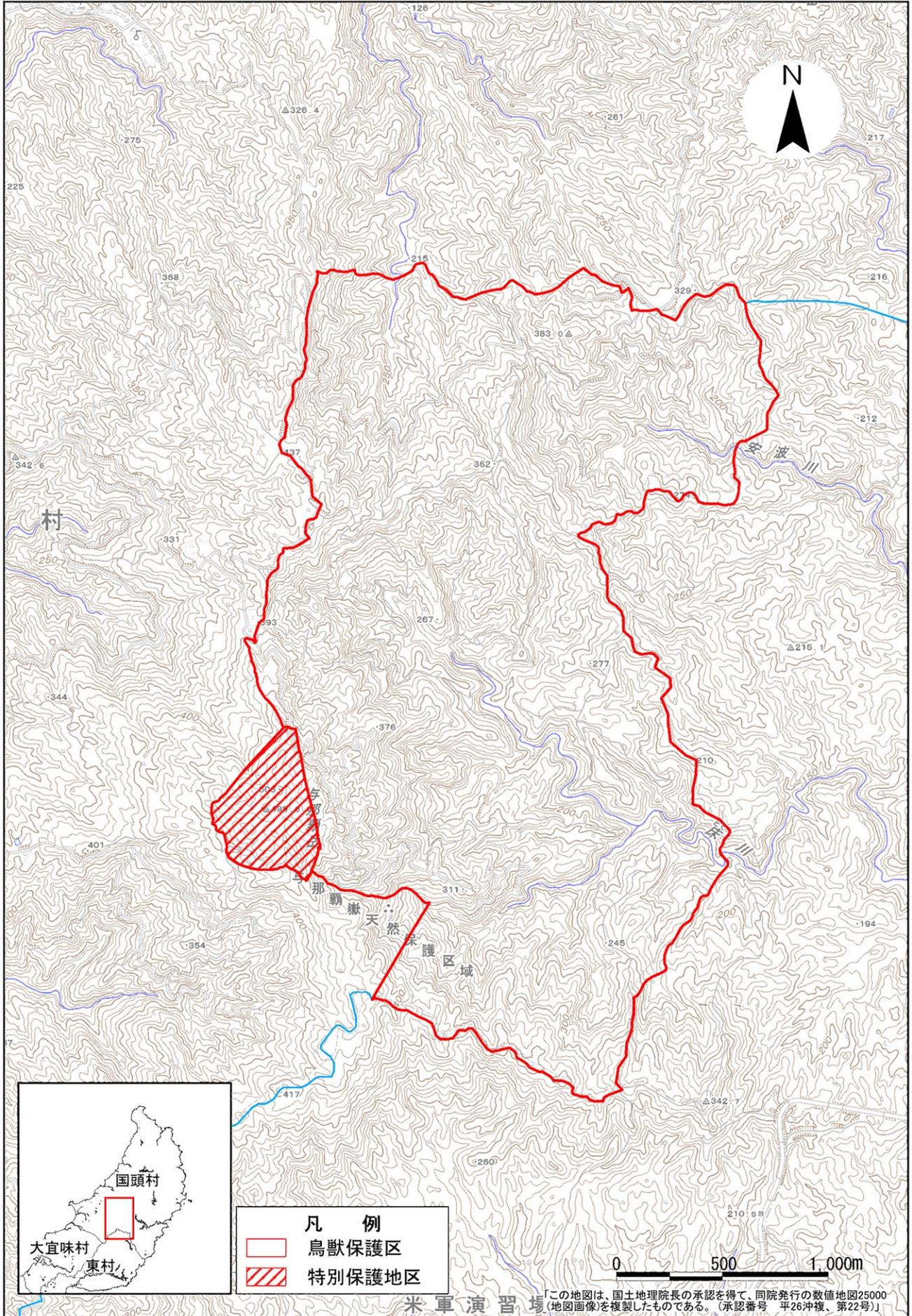
- 7 鳥獣保護区の維持管理に関する事項

鳥獣保護区制札 2 本

沖縄県指定 与那覇岳鳥獣保護区及び同特別保護地区位置図



沖縄県指定 与那覇岳鳥獣保護区及び同特別保護地区区域図



沖縄県指定与那覇岳鳥獣保護区区域説明図

